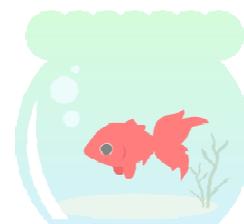


がん化学療法科 ニュースレター

ほほえみ 第80号



7月を迎え、夏本番というよりは梅雨らしい日が続きそうです。ニュースレター・ほほえみも80号となりました。7年近く続けていることになりましたね。毎回、何を書こうか頭を悩ませていますが、何となく書き始めると、それなりの分量になるのが不思議です。今後とも、よろしくお願い申し上げます。

ミツバチのように

今回のほほえみは、次に出てくるパイプスライダーの文章が先にできて、その後、思うところあってこの文章になっています。変曲点ということから、法句経(ダンマパダ)に飛んだのですね。

法句経は、原始仏教の聖典で、ものすごく古いものになります。この頃の文章は、きわめて簡明で、自然を喩えた言葉も多くて読みやすいものです。何の引っかけりもなく読めてしまうといっても良いかもしれません。その中で、ミツバチの姿を書いたものがあって、

蜜蜂は(花の)色香を害わずに、汁をとって、花から飛び去る。

(岩波文庫「真理のことは 感興のことは」真理のことは 第4章 花にちなんで より)

この文章なのですが、折に触れて思い返すと、気づかされることが多い言葉です。我が家の庭にも、ミツバチが沢山来ていて、ミツバチにも大きいのが小さいのがいて種類があることに驚くのですが、一つの花に止まっても、ちょっと用が済むと、また次に行ってしまうのです。人間のほうが、ずっと同じ花を見えています。ミツバチが次々に違う花を飛び交う姿、これが執着心のない姿なのです。

大体、何か上手いといっても、そうでなくても、人間は執着します。席に座った時だとすると、近くに人が座って少し詰める時などでも、出来れば動かないで同じ場所に執着するし、化学療法でも、一旦効果があったとすると、その治療に執着があります。これは患者さんの側だけでなく、医療者の側にも執着があって、やや効果が出ていないなと思いつつも、変更したくないという執着心になり得ます。次のステップ(変曲点)に来たときに、ミツバチのように、さっと次の花に飛び移りたいものです。もう少しという気持ち、これはミツバチにはないのですね。

ちょっと上手いかないときでも、以前の選択に執着することを、経済学では、サンクダウン・コストの呪縛といいます。株が値下がりしても、今売ると損だから・・・、とずるずると売のを先延ばして、結局、損出を大きくするような場合に使われる言葉です。仏教も経済学も叡智には通じるものがあります。古代も現代も、人間の心情は変わらないもので、だからこそ古典を学ぶ価値があるのだと思います。

選択すべきときに、さっと飛び移る、否、選択ですらないのかも知れません。ミツバチを見ると、いつも法句経の言葉を思い返します。簡明だとはいえ、素晴らしい仏典なので、興味のある方は、折角の機会ですから、友松圓諦先生の書かれた文庫本を読まれると、より深く理解できるかと思います。

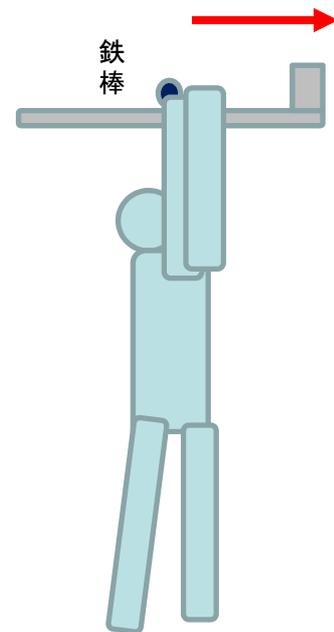


パイプスライダー 変曲点

先日、テレビで、KUNOICHIという番組をやっていて、パイプスライダーという競技をしていました。水平に渡した2本の鉄パイプに、直行する鉄棒でぶら下がって前に進むというものです。ちょっと考えても、普通には上手くいかない気がするのですが、運動神経抜群の挑戦者達は、流石に、前には進むのです。しかし、意地悪なことに、途中で行き止まりになっていて、もう少しでゴールに飛び移れないように出来ているのです。鉄棒やブランコのように、体幹を使って反動をつけて飛び移ろうとすると、鉄棒が反動で後ろに下がるのですね。

これは、いかにトレーニングしても、最後の飛び移るステップで失敗する結果なのです。幾多の、素晴らしい身体能力の人たちが悉く失敗しているのです、これは、ある種の罠なのでしょう。難しくても進んでいたものが、もう一歩で上手くいかない。別のタイプの動き、運動が必要で、体幹を使うのではない、振り子運動が必要だと思います。手首を使った振り子運動の導入と、手首の角度の問題ぐらいで解決できる・・・？

この番組の面白さは、難しさと大成功が表裏一体であることです。そして難しさの背景には、変曲点があります。上手くいかない事柄を分析すると、人生で出会うような変曲点にも通ずるところが、意外と奥深いと思います。



庭で日焼けしています

アウトドアや、ゴルフもする訳ではありませんが、手や顔が日焼けしています。これは、朝に鉢植えに水遣りしたり、花びらの掃除をしているためです。4月から、ほんの少しずつレンガのCuttingや、基礎工事をしていたのですが、ようやく、先日、レンガで1メートル程度のサークルも完成しました。レンガのCutの際も下書きもなく、三角形の相似形を頭の中でイメージして、正に適当に作ったので、素人的な感じではありますが、整っていないところが、味があるということにしています。それにしても、レンガのCutや、砂利の展圧、モルタル工事など、自分で行うことがあろうとは、思ってもいませんでしたが、ホームページで検索する程度で、意外とできてしまうものですね。



MEMO

7月のがん化学療法科の予定

7月4日	診療応援(平出先生)
7月11日	診療応援(工藤先生)
7月17日	海の日
7月18日	診療応援(平出先生)
7月21日	新渡戸稲造記念 メディカル・カフェ
7月25日	診療応援(工藤先生)

